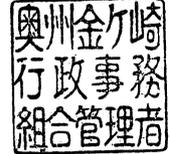


奥州金ヶ崎行政事務組合告示第 11 号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項の規定により、胆江広域水道
用水供給事業の業務状況（令和5年4月1日から令和5年9月30日まで）を別紙のとおり公
表する。

令和5年11月30日

奥州金ヶ崎行政事務組合
管理者 倉成 淳



1 事業の概況（令和5年9月30日現在）

月別の水量（取水、供給、有効、有収）

区 分		取水水量 (m ³)	供給水量 (m ³)	有効水量 (m ³)	有収水量 (m ³)
令和5年	4月	336,033	305,577	305,577	300,709
	5月	342,078	312,421	312,421	307,511
	6月	349,456	319,710	319,710	314,798
	7月	344,284	313,895	313,895	309,243
	8月	361,304	330,563	330,563	325,097
	9月	360,310	330,161	330,161	325,819
合計		2,093,465	1,912,327	1,912,327	1,883,177
前年同月合計		2,134,453	1,948,720	1,948,720	1,919,188
対前年度	増減	△40,988	△36,393	△36,393	△36,011
	増減率	△1.92%	△1.87%	△1.87%	△1.88%

取水量、供給水量及び有収率

区 分		令和5年度	備 考
取水量	年間取水量 (m ³)	2,093,465	
	一日最大取水量 (m ³)	12,362	令和5年8月22日
	一日平均取水量 (m ³)	11,378	
供給水量	年間供給水量 (m ³)	1,912,327	
	一日最大供給水量 (m ³)	11,204	令和5年7月27日
	一日平均供給水量 (m ³)	5,955	
有効率	年間供給水量 (m ³) (A)	1,912,327	
	有効水量 (m ³) (B)	1,912,327	
	有収水量 (m ³) (C)	1,883,177	
	有効無収水量 (m ³)	29,150	
	無効水量 (m ³)	0	
	有効率 (B/A × 100) %	100.0	
	有収率 (C/A × 100) %	98.5	

2 令和5年度胆江広域水道用水供給事業会計予算執行状況（令和5年9月30日現在）

(1) 収益的収入及び支出（税込み）

収入

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 水道用水供給事業収益	711,268	0	711,268	362,727	51.0%
第1項 営業収益	578,971	0	578,971	294,097	50.8%
第2項 営業外収益	132,297	0	132,297	68,630	51.9%

※営業外収益は、長期前受金戻入予算額2分の1を含む。

支出

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 水道用水供給事業費用	787,379	0	787,379	310,862	39.5%
第1項 営業費用	688,009	0	688,009	279,497	40.6%
第2項 営業外費用	94,370	0	94,370	31,365	33.2%
第3項 予備費	5,000	0	5,000	0	0.0%

※営業費用は、減価償却費予算額2分の1を含む。

(2) 資本的支出（税込み）

単位：千円

款、項	予算額			執行額	執行率
	当初予算額	補正予算額	合計		
第1款 資本的支出	327,684	0	327,684	148,792	45.4%
第1項 建設改良費	29,579	0	29,579	495	1.7%
第2項 企業債償還金	298,105	0	298,105	148,297	49.7%

3 令和4年度決算の状況

本組合の水道用水供給事業が抱えている経営諸課題の解決に向け、令和3年度に設置した胆江広域水道用水供給事業施設整備等検討委員会において施設規模（最終供給水量）の縮小に向けた見直し等の検討を重ねてきた。

同委員会では、浄水場の施設規模を構成市町の最終的な必要水量である 30,000 m³/日とし、浄水場の整備を令和10年度までに行うこと、財政収支計画の試算結果から減損会計は不要とし、令和4年度に建設仮勘定を本勘定に振替え、水道用水供給料金は令和10年度まで据え置き、令和11年度以降は改定することとする結論に至った。

これを受けて、同委員会の検討結果を内容とする事業計画の変更について構成市町と協議を行い、両市町から同意を得て令和4年10月に正式に決定した。

事業計画の変更決定により、本事業の基本計画となる水道ビジョン及び経営戦略の令和5年度策定に向けて作業を進めている。

(1) 水道用水供給の状況

水道用水の供給は、奥州市内7か所の受水池へ年間 3,776,464 m³供給し、令和3年度との比較では 248 m³の減となった。年間総有収水量は 3,719,980 m³となり、前年度比較で 4,873 m³の増となっている。

(2) 建設改良工事の状況

たんこう浄水場の中央監視制御設備更新事業として、設備更新工事を施工した。

(3) 経営の収支状況

収益的収入及び支出の状況については、収入においては総額 608,924,430 円（消費税及び地方消費税込み額 662,262,398 円）となり、うち用水供給収益は 533,066,281 円（消費税及び地方消費税込み額 586,372,897 円）となった。

支出においては、総額 480,017,374 円（消費税及び地方消費税込み額 511,733,342 円）となり、この結果、128,907,056 円の当年度純利益が生じた。

資本的支出の状況については、建設改良費 237,842,000 円、企業債償還金 306,652,328 円で、総額 544,494,328 円（消費税及び地方消費税込み額）となり、資本的収支不足額 544,494,328 円は、当年度分消費税資本的収支調整額 21,622,000 円及び過年度分損益勘定留保資金 522,872,328 円で補填した。